

講評文

12月24日 4番目
菊里高校

「Take Me Deeper!!!」

「Teke Me Deeper!!!」は突然古代エジプト風の裁判にかけられた主人公が、愛知県の高校で起きた事件の現場から自分の罪を探し出す物語となっています。

この作品は「責任の伴わない発言の怖さ」が大きなテーマとなっています。主人公は事件自体には関わってはいないものの、「これはイジメが原因で起こった」と思い込み、根拠のない無責任な発言を発信しました。その発信のせいで事件が起こった学校の生徒たちはあらぬ疑いをかけられ苦しい生活を送る結果となりました。このような状況は現実でも起こり得ることであり、こうならないために誰もが自分の発言に責任を持たなくてはならないという現代風刺的を含む作品です。

この作品は、客観的に見るか、主人公目線で見るとだいぶ印象が変化する作品になっていると感じました。客観的に見ると、主人公が一番悪く全ての元凶といえますが、主人公目線になってみると自分は一言言っただけで自分の発言を拡散したのは周りの人だから自分は悪くないと思える。この変化は1つの舞台作品の中だけの変化であるとは言い切れず現実でも同様であろうになると考えました。観客側にそう考えさせる、この作品の魅力であり怖さが舞台上で見事に表現されていました。

題名となっている「Take Me Deeper!!」は日本語で「私をもっと深く連れて行って」という意味になります。この「深く」というのは自分の中にある良心をもう少し深く考えてほしい、もっと深く自分が犯した罪の意味を考えてほしいなど様々な意味を持っているのではないかと、講評委員会内の話し合いのなかでも話題に上がりました。

役者一人ひとりの演技力が非常に高く、全員の演技の場面でも常に所作が揃っていました。また、道具の数がそこまで多くないにもかかわらず、しっかりと状況と場所が理解できる構成となっていたのが技術力の高さを感じました。

名古屋市立菊里高校の皆さん、大会お疲れ様でした。素敵な作品をありがとうございました。